

公益社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構第13回臨時総会議事録

- I. 日 時 令和7年3月24日（月）13時00分～15時00分
- II. 場 所 医療系大学間共用試験実施評価機構会議室
東京都文京区湯島1-9-15 茶州ビル6F及びWeb会議システム
- III. 出席者 会 員 畠山鎮次ほか104名（内訳別紙出席者名簿のとおり）
理事長 栗原 敏（議事録作成者）
理 事 江藤一洋，齋藤宣彦，高木 康，斎藤隆史(Web)，三谷昌平
清水貴子(Web)，河野文昭(Web)，新田 浩，石原 慎(Web)，山口育子
別所正美(Web)，相良博典(Web)，藤井一維，藤田一雄(Web)
佐藤哲也，松谷有希雄(Web)，村田貴司
監 事 竹田幸博，鈴木裕子(Web)
- IV. 審議事項等
1. 審議事項
- 第1号議案 令和6年度補正予算（案）について
第2号議案 令和7年度事業計画（案）について
第3号議案 令和7年度収支予算（案）について
2. 報告事項
- (1) 共用試験の課題と情報共有事項について
(2) 役員候補者選考規程の制定について
(3) 共用試験成績について
(4) その他
3. 配付資料
- 資料番号なし 第11回定時総会議事録（案）
資料番号なし 機構会員名簿
資料1 令和6年度収支補正予算書（案）
参考資料 令和6年度厚労省医療施設運営費等補助金の交付額
資料2 令和7年度事業計画書（案）
資料3-1 令和7年度収支予算書（案）
資料3-2 令和7年度収支予算資金調達及び設備投資の見込み（案）
資料3-3 令和7年度収支予算書内訳表（案）
参考資料 令和7年度予算（案）について（説明資料）
報告資料1-1 医学生C B T課題点報告
報告資料1-2 歯学生共用試験C B Tの課題
報告資料1-3 医学生O S C Eの課題点
報告資料1-4 歯学生O S C Eの課題点
報告資料1-5 歯学生P X実施管理委員会（2025年2月）

- 報告資料 2 役員候補者選考規程
- 報告資料 3-1 2024年度医学生共用試験C B T結果表
- 報告資料 3-2 2024年度歯学生共用試験C B T結果表
- 報告資料 3-3 2024年度医学生臨床実習前O S C E結果表
- 報告資料 3-4 2024年度歯学生臨床実習前O S C E結果表
- 報告資料 3-5 2024年度医学生臨床実習後O S C E結果表
- 報告資料 3-6 2024年度歯学生Post-CC P X結果表

V. 議事の経過の要領及び結果

栗原議長から定足数の確認について付議，松尾総務部長から正会員111名のうち，本日の出席者51名（うちWeb出席者43名），委任状を提出した者40名（うち理事長（議長）に委任した者27名，代理人に委任した者13名），議決権を行使した者14名，合計105名が出席し，定款第19条第1項の規定による総会の定足数を満たしている旨の報告があった。

続いて，栗原議長から第11回定時総会（令和6年6月28日開催）の議事録（案）の確認について付議，審議の結果，全員異議なく，原案どおり確認された。

引き続き，栗原議長から議事録署名人1名の選出について付議，審議の結果，鶴田大輔（大阪公立大学医学部長）が選出された。

1. 第1号議案 令和6年度補正予算（案）について

栗原議長から本件について付議，迫田事務局長から資料1「令和6年度収支補正予算書（案）」及び参考資料「令和6年度厚労省医療施設運営費等補助金の交付額」に基づき説明があり，審議の結果，全員異議なく，原案どおり承認された。

2. 第2号議案 令和7年度事業計画（案）について

栗原議長から本件について付議，齋藤副理事長から資料2「令和7年度事業計画書（案）」に基づき説明があり，審議の結果，全員異議なく，原案どおり承認された。

審議の過程における主な質問と回答の要旨は以下のとおり。

質 問	回 答
3. (1)②の認定講習会等については，大学の負担が大きくなるよう「要請」の文言を追加し，大学からの要請に応じて機構で開催していただきたい。（豊岡岡山大学医学部長）	機構で開催してほしいとの要望が既にきている。「必要に応じて」とは，大学と相談した上，機構で対応できる場合は対応したいとの趣旨であり，「要請」を追加する。（齋藤副理事長）
4. (3)関係団体との意思疎通について，OSCE試験後の調査票など大学の意見が十分に反映されていないところがある。個々の施設の意向が反映されるような文言としていただきたい。（豊岡岡山大学医学部長）	医学系，歯学系それぞれの団体があり，その意見を承ろうという趣旨である。「各会員大学」という文言を追加して分かり易くする。（齋藤副理事）

3. 第3号議案 令和7年度収支予算（案）について

栗原議長から本件について付議，迫田事務局長から資料3-1「令和7年度収支予算書（案）」，資料3-2「令和7年度収支予算資金調達及び設備投資の見込み（案）」，資料3-3「令和7年度収支予算書内訳表（案）」及び参考資料「令和7年度予算（案）について（説明資料）」に基づき説明があり，審議の結果，全員異議なく，原案どおり承認された。

審議の過程における主な質問と回答の要旨は以下のとおり。

質 問	回 答
認定講習会については，事業計画書に「要請に応じて」との文言が追加されるが，今回の予算案の中で，フレキシブルに対応いただけるか？（豊岡岡山大学医学部長）	機構としては，経費削減のため大学で開催してほしいとの意向であったが，大学の負担が大きくなり，機構主催の講習会に参加させたいとの要望が多くあることから，機構で対応する方向に動きつつある。具体的な回数までは詰めていない。（齋藤副理事長）
評価者講習会に関して，グループワークの在り方を工夫することによって，大学の負担を減らせないか検討いただきたい。（豊岡岡山大学医学部長）	サマティブ・エバリュエーションとフォーマティブ・エバリュエーションの区別のつかない教員が大学にいる。大学におけるFDが大事だが，機構も評価方法等に関する情報を発信し，質の高い評価者を養成する必要がある。相談の上，要望を承ってということになる。（齋藤副理事長）
医道審議会の意見を踏まえ外部評価者を半減するが，これに相当する旅費や謝金の予算は，前年度と比較して10%程度しか削減できていない。理由はなにか？（関根富山大学医学部長）	全体の削減数738名分の旅費と謝金について，単価を掛けた額を削減しているが，旅費単価の上昇や委員会の開催回数の増加など増額要因もある。（迫田事務局長）
旅費や謝金の8割は，試験に係るものというより各種委員会の委員に対する旅費や謝金という理解でよいか。（関根富山大学医学部長）	委員会だけではなく，臨床実習後OSCEに係る機構派遣監督者や外部評価者の旅費・謝金も含まれている。（迫田事務局長）
委員会数や開催回数の削減とWeb化，紙媒体の廃止，講習会のWeb化等については，今回の収支予算案にどのように反映されているか？（関根富山大学医学部長）	委員会数の削減はまだ十分にできていない。また，説明資料P3のとおり，賃借料など削減できたものがあるが，通信運搬費など人件費等の値上げにより増加したものもある。会議はできるだけWeb化した形で予算を積算している。（迫田事務局長）
同じ者が複数の委員会の構成員となっているため，当該者に相当な旅費等が支払われている。委員会数の削減に是非取組んでほしい。また，会費の増は窮余の策として昨年度承認されたと理解している。将来的に元の水準まで下げるための改革や試算，将来計画を示してほしい。（関根富山大学医学部長）	委員会は必要性を十分吟味して削減すべきである。各大学では教育担当者が少ないため，同じ者が複数の委員会の構成員として大学から推薦されていることもある。会費については，上げてからまだ1年であり，将来的に財務状況が改善されれば下げることもあり得るが，状況を見て判断したいと考えている。（栗原理事長）

<p>CPX, CSXが公的化された場合, 更なる会費の値上げがあるのか? また, 旅費の問題であるが, 2名派遣されている機構派遣監督者について, 再試験と同様1名にすることもひとつの手段ではないか。(宇田川松本歯科大学歯学部長)</p>	<p>CPX, CSXの公的化については未定であるため, 公的化に伴う経費増は検討段階にはない。旅費については, 特に宿泊費が上がっているため, その分を予算措置するかどうか, 今後の検討課題である。(江藤副理事長)</p>
--	--

VI. 報告事項

(1) 共用試験の課題と情報共有事項について

1. 医学生CBTの課題について

齋藤副理事長から, 報告資料1-1「医学生CBT課題点報告」に基づき報告があった。

【主な説明の要旨(資料の補足)】

- ・ CBT試験室, 待機室, トイレなど受験者の動線の明確化に関して次年度の実施要項に記載
- ・ 個人成績表のレーダーチャートを改訂し, 分野ごとの相対的な成績を表示
- ・ 不正行為に用いられる可能性のあるデバイスについて, 専門家に意見照会予定
- ・ モデルコアカリキュラムを参考に, 「CBT出題基準」を作成すべく作業を継続

2. 医学生臨床実習前・後OSCEの課題について

齋藤副理事長から, 報告資料1-3「医学生OSCEの課題点」に基づき報告があった。

【主な説明の要旨(資料の補足)】

- ・ 令和7年度からは1試験室当たり内部評価者1名で実施可(1名評価者の場合不測の事態に備え予備評価者を待機, また, 大学の事情により2名で実施可), 外部評価者は課題毎に1名を配置
- ・ 評価者1名の場合, 単一領域課題について不到達となった場合は, 別の認定評価者が動画により追加の評価を実施(動画による評価が不可能な場合は「やり直し試験」)
- ・ 機構主催追再試験は, 藤田医大, 慈恵医大, 兵庫医大, 滋賀医大を会場に6回実施し, 総計371名が受験
- ・ 評価者養成については, 認定講習会を実施し, 総計13742名を認定。令和7年度からは, 機構が大学の評価者養成を支援するとともに, 機構においても認定講習会を実施
- ・ 模擬患者養成については, 大学及びそれ以外の模擬患者団体養成の模擬患者, 機構養成の模擬患者, 合わせて1000名弱を模擬患者と認定。今後も機構の主導のもとに各大学の模擬患者養成担当者による模擬患者養成を継続
- ・ 臨床実習前OSCEにおける合理的配慮支援は115件, 担当の委員会では対応【例: 多汗症(タオル, パウダー), 血糖管理(血糖測定器 グルコースタブレット), 聴覚障害(補聴器)など】
- ・ 臨床実習前OSCEの成績に対する異議申し立ては25年1月までに118件, 担当委員会において再判定した結果, 68件が到達と判定
- ・ 不正・逸脱対応では, 運営上の問題点(評価者, 模擬患者, アナウンス, 機材等)があり, 担当委員会が対応
- ・ 臨床実習後OSCE(非公的試験)については, ①機構が作成した3課題, 各大学が独自に作成した3課題の計6課題で実施(合否判定は各大学の責任で実施), ②評価は大学教員のみならず臨床研修病院の研修指導医で機構の認定を受けた評価者(合計約4300名)が実施

3. 歯学生C B Tの課題について

齋藤理事から、報告資料1-2「歯学生共用試験C B Tの課題」に基づき報告があった。

4. 歯学生臨床実習前O S C Eの課題について

葛西事業部長から、報告資料1-4「歯学生O S C Eの課題点」に基づき報告があった。

5. 歯学生臨床実習後P Xの課題について

新田理事から、報告資料1-5「歯学生P X実施管理委員会（2025年2月）」に基づき報告があった。

(2) 役員候補者選考規程の制定について

迫田事務局長から、報告資料2「役員候補者選考規程」に基づき報告があった。

(3) 共用試験成績について

仁田学術顧問から、報告資料3-1「2024年度医学生共用試験C B T結果表」、報告資料3-2「2024年度歯学生共用試験C B T結果表」、報告資料3-3「2024年度医学生臨床実習前O S C E結果表」、報告資料3-4「2024年度歯学生臨床実習前O S C E結果表」、報告資料3-5「2024年度医学生臨床実習後O S C E結果表」及び報告資料3-6「2024年度歯学生Post-CC P X結果表」に基づき報告があった。

報告後の主な質問と回答の要旨は以下のとおり。

質 問	回 答
機構に異議申し立てをして認められた者の数に関するデータがあるか？（豊岡岡山大学医学部長）	本試験で118例の異議申し立てがあり、再判定の結果、到達と判定したものが68例、やり直したものが27例、却下したものが23例である。また、再試験では13例の異議申し立てがあり、不到達3例で、やり直して不到達になったものはいない。（齋藤副理事長）
大学のフィルターを通過していない異議申し立てがあるか？また、再判定の際の合意形成の基準は公開できないとのことであったが、どのような形で審査になると理解したらよいか。ある程度透明性があつた方が良いと思われる。（豊岡岡山大学医学部長）	全て大学のフィルターを通過している、通っていないものは差し戻している。また、審査は異議申し立ての特別な独立した委員会で行っており、審査の内容については分析中である。（齋藤副理事長）
臨床実習前OSCEの試験後に調査票の形で様々な質問をしているが、その回答について情報共有をお願いしたい。（豊岡岡山大学医学部長）	全国説明会において、Q & Aとして公開している。（齋藤副理事長）

以上をもって議事は全て終了し、議長は15時00分閉会を宣し、解散した。

令和7年3月24日

議 長 栗 原 敏 ⑩

理 事 江 藤 一 洋 ⑩

議事録署名人 鶴 田 大 輔 ⑩

公益社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構第13回臨時総会出席者名簿

出席者（51名うちWeb出席43名）

北海道大学医学部長	畠山鎮次 (Web)
旭川医科大学長	西川祐司 (Web)
秋田大学医学部長	羽瀨友則 (Web)
山形大学医学部長	永瀬智 (Web)
群馬大学医学部長	調憲 (Web)
防衛医科大学校長	福島功二 (Web)
千葉大学医学部長	三木隆司 (Web)
富山大学医学部長	関根道和 (Web)
山梨大学医学部長	小泉修一 (Web)
信州大学医学部長	奥山隆平 (Web)
三重大学医学部長	平山雅浩 (Web)
島根大学医学部長	石原俊治 (Web)
岡山大学医学部長	豊岡伸一
広島大学医学部長	志馬伸朗 (Web)
山口大学医学部長	田邊剛 (Web)
佐賀大学医学部長	野出孝一 (Web)
長崎大学医学部長	池松和哉 (Web)
熊本大学医学部長	尾池雄一 (Web)
鹿児島大学医学部長	大脇哲洋 (Web)
福島県立医科大学医学部長	藤森敬也 (Web)
名古屋市立大学医学部長	高橋智 (Web)
京都府立医科大学長	夜久均 (Web)
大阪公立大学医学部長	鶴田大輔
和歌山県立医科大学医学部長	川股知之 (Web)
埼玉医科大学医学部長	森茂久 (Web)
帝京大学医学部長	河野博隆 (Web)
東京慈恵会医科大学長	松藤千弥
東邦大学医学部長	池田隆徳 (Web)
聖マリアンナ医科大学長	北川博昭 (Web)
大阪医科薬科大学医学部長	内山和久 (Web)
近畿大学医学部長	西尾和人 (Web)
兵庫医科大学長	鈴木敬一郎 (Web)
川崎医科大学長	砂田芳秀 (Web)
福岡大学医学部長	小玉正太
産業医科大学医学部長	酒井昭典 (Web)
北海道医療大学歯学部長	古市保志 (Web)
北海道大学歯学部長	網塚憲生 (Web)
岩手医科大学歯学部長	小林琢也 (Web)

日本大学松戸歯学部長	福 本 雅 彦 (Web)
東京歯科大学長	一 戸 達 也 (Web)
神奈川歯科大学長	櫻 井 孝
日本歯科大学長 (新潟生命歯学部)	藤 井 一 維
松本歯科大学歯学部長	宇田川 信 之
朝日大学歯学部長	玉 置 幸 道 (Web)
岡山大学歯学部長	久保田 聡 (Web)
広島大学歯学部長	柿 本 直 也 (Web)
徳島大学歯学部長	馬 場 麻 人 (Web)
九州大学歯学部長	西 村 英 紀 (Web)
福岡歯科大学長	高 橋 裕 (Web)
鹿児島大学歯学部長	後 藤 哲 哉 (Web)
奥羽大学歯学部長	瀬 川 洋

理事長に委任した者 (26名)

東北大学医学部長	石 井 直 人
筑波大学医学群長	武 井 陽 介
金沢大学医学類長	山 本 靖 彦
福井大学医学部長	藤 枝 重 治
浜松医科大学長	今 野 弘 之
名古屋大学医学部長	木 村 宏
大阪大学医学部長	熊ノ郷 淳
徳島大学医学部長	西 岡 安 彦
高知大学医学部長	井 上 啓 史
九州大学医学部長	須 藤 信 行
宮崎大学医学部長	盛 武 浩
札幌医科大学医学部長	齋 藤 豪
岩手医科大学医学部長	佐々木 真 理
自治医科大学長	永 井 良 三
獨協医科大学長	種 市 洋
杏林大学医学部長	平 形 明 人
慶應義塾大学医学部長	金 井 隆 典
昭和大学医学部長	小 風 暁
日本大学医学部長	木 下 浩 作
日本医科大学長	弦 間 昭 彦
北里大学医学部長	小 川 元 之
金沢医科大学医学部長	岩 淵 邦 芳
愛知医科大学医学部長	笠 井 謙 次
東北医科薬科大学医学部長	小 澤 浩 司
大阪歯科大学長	川 添 堯 彬
長崎大学歯学部長	村 田 比呂司

議長に委任した者（1名）

大阪大学歯学部長 西村理行

代理人に委任した者（13名）

神戸大学医学部長	村上卓道	坂口一彦
香川大学医学部長	西山成	豊岡伸一
横浜市立大学医学部長	中島淳	稲森正彦
順天堂大学医学部長	高橋和久	西崎祐史
東京女子医科大学医学部長	中神朋子	柳澤直子
東海大学医学部長	森正樹	濱田昌史
明海大学歯学部長	坂英樹	天野修
日本歯科大学生命歯学部長	菊池憲一郎	藤井一維
日本大学歯学部長	飯沼利光	黒川弘康
昭和大学歯学部長	馬場一美	坂井信裕
鶴見大学歯学部長	大久保力廣	山越康雄
新潟大学歯学部長	井上誠	馬場麻人
愛知学院大学歯学部長	本田雅規	森田匠

議決権を行使した者（14名）

弘前大学医学部長	石橋恭之
東京大学医学部長	南學正臣
岐阜大学医学部長	山口瞬
滋賀医科大学長	上本伸二
京都大学医学部長	伊佐正
鳥取大学医学部長	景山誠二
愛媛大学医学部長	羽藤直人
琉球大学医学部長	筒井正人
東京医科大学長	宮澤啓介
久留米大学医学部長	石竹達也
国際医療福祉大学医学部長	坂元亨宇
東北大学歯学部長	小坂健
東京科学大学歯学部長	依田哲也
九州歯科大学長	栗野秀慈